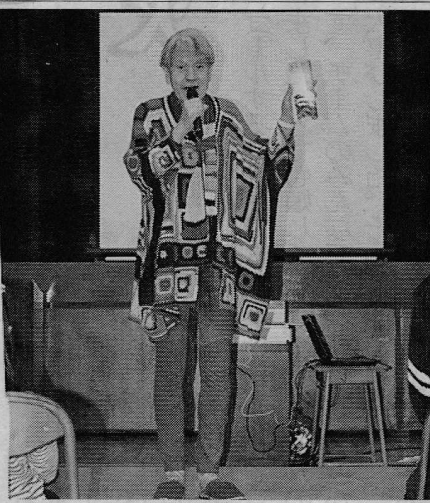


作品の素晴らしさ感じて

水上不二感想
画コンクール 志茂田さんが講演

第11回水上不二作品
感想画コンクール（水
報）を表彰した。

上不二研究会、気仙
沼・大島みらい創り協
議会主催）の表彰式が
14日、気仙沼市立大島
小学校体育館で行われ、
作家の志茂田景樹さん



講演する志茂田景樹さん

れ、入賞者26人〓既
報〓を表彰した。

を招いた講演会も開か
れた。

気仙沼の大漁旗を意
識したというファッ
ションで登場した志茂
田さんは、水上不二と
の出会いが小学生時代
に愛読した雑誌「少年
」に連載されていた
詩だったこと、同級生
に水上不二の娘がいた
ことを紹介。東日本大
震災後に気仙沼を慰問
した際、大島が不二の
出身地と知り、「もう
一度あの詩に巡り会
たい」と思い、探して
いたが見つけられな
かったという。

今回の訪問で、宿泊
した旅館で手にした本
にその時の詩「海の少
年」を見つけ、「よつや
く再会し、感動した」
と話し、「海の少年」
と話し、「海の少年」
と「いわし」を朗読し
た。

また、自身の作品
「ぞうのこどもがみた
ゆめ」を暗唱で披露す
ると、聴衆から拍手が
上がった。

最後に「水上不二作
品の素晴らしさをもっ

と感してください。み
んなで多くの人に広
め、大島が生んだ水上
不二の名前を偉大なも
のにしていきましょ
う」と呼び掛けた。